

第28章 地域編④：西部

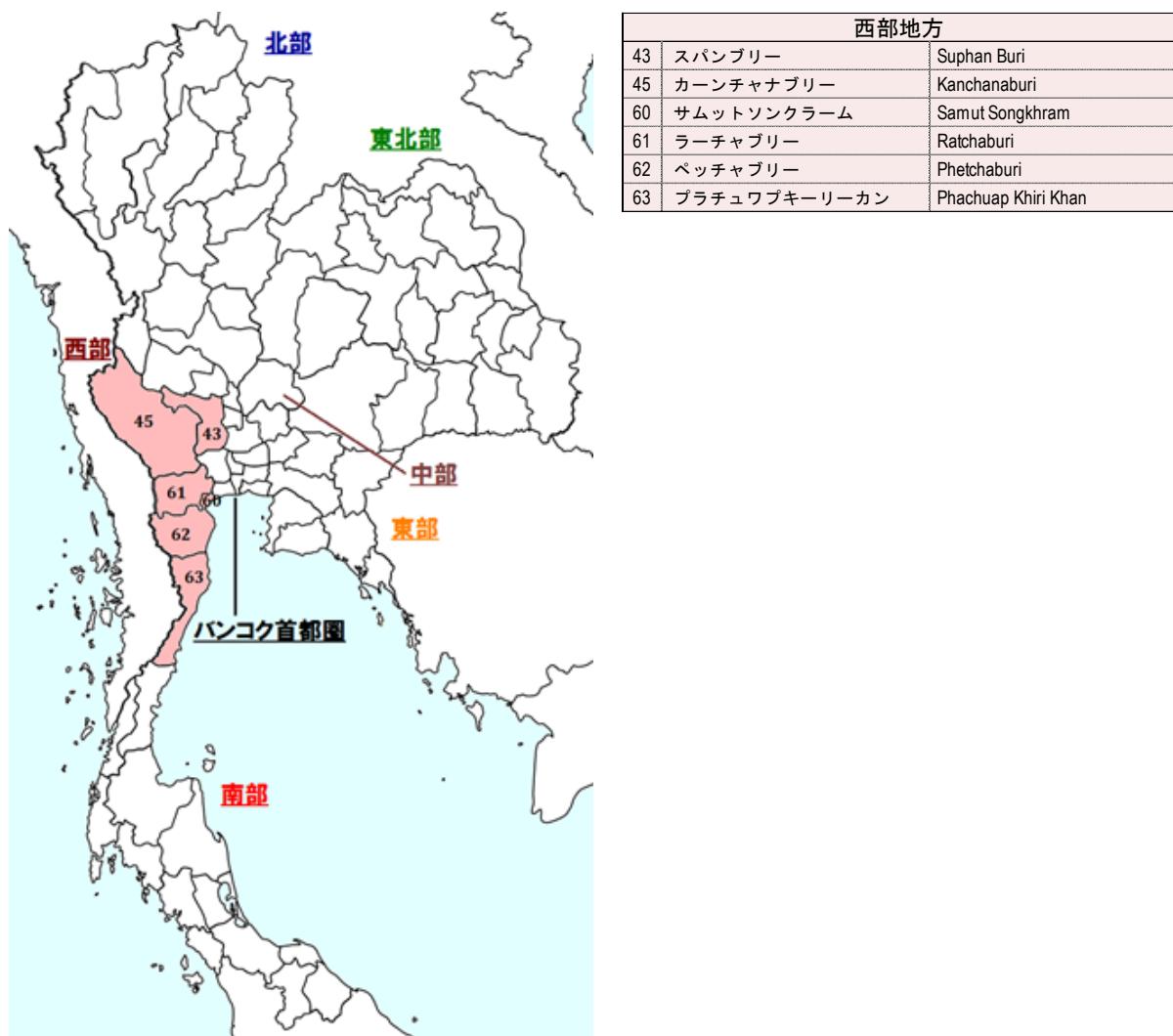
1. 地域概要

(1) 概要

①西部地方のタイにおける経済的地位

西部はバンコク首都圏の西に位置する 6 県で構成され、スパンブリー県とサムットソンクラーム県以外の 4 県はミャンマーと接している。西部地方全域の名目 GDP は 6,369 億バーツであり、7 つに分けた地域区分の中で最も小さく、人口も 366 万人と 2 番目に少ない（いずれも 2023 年）。

図表 28-1 タイ西部地方の位置



図表 28-2 西部地方概要

No	県名	(英語名)	名目GDP [2023年] (100万バーツ)	人口 [2023年] (1,000人)	1人あたりGDP [2023年] (バーツ)
	西部地方	Western	636,869	3,656	174,207
61	ラーチャブリー	Ratchaburi	187,601	810	231,516
45	カーンチャナブリー	Kanchanaburi	128,134	834	153,662
63	プラチュワプキーリーカン	Phachuap Khiri Khan	107,561	486	221,151
43	スパンブリー	Suphan Buri	105,405	847	124,482
62	ペッチャブリー	Phetchaburi	78,848	503	156,719
60	サムットソンクラーム	Samut Songkram	29,320	175	167,164

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

②工業団地・日系企業進出動向

ラーチャブリー県にあるラーチャブリー工業団地には、乾燥食品の株式会社營洋やデニム生地のカイハラ株式会社等、食品製造や衣料品製造の日本企業が数社進出している。また、カーンチャナブリーからミャンマーのダウェーに向けた開発構想があり、将来的にはタイからミャンマー（ダウェー）経由でのインド、中東、アフリカ向け輸出の可能性が探られている。しかし、現状はミャンマー側の道路インフラやダウェーの港湾の整備が進んでいないことや、ミャンマーの政治的不安定さもあり不透明な状況である。

(2) 進出日系企業からみた事業・生活環境やコスト

①インフラ・物流

【道路】

バンコクから、日本政府が経済特区開発支援を表明したミャンマーのダウェーまでの道路がカーンチャナブリー県を通って続いている（ミャンマー側の一部は未舗装）。また、バンコクからラーチャブリー県を通り、ペッチャブリー県、プラチュワプキーリーカン県の東部を通って、南部地方を通過しマレーシアへと続く国道4号線が通っている。道路は整備されており、バンコクと比べて渋滞は少ない。

②労働事情

【賃金】

2025年1月に最低賃金（日額）が改定されている。

図表 28-3 西部地方の県別最低賃金（2025年1月）

県名	最低賃金（バーツ）
サムットソンクラーム	358
スパンブリー	355
カーンチャナブリー、プラチュワブキーリーカン	352
ペッチャブリー	351
ラーチャブリー	347

(出所) JETRO より作成

③生活環境

カーンチャナブリーは映画「戦場にかける橋」の舞台として有名な観光地であるが、工業団地は少なく、日本企業の進出もあまりない。駐在員としての生活環境は教育や医療面でのハードシップが高い。日本食のレストランは数件存在する程度である。

2. 主要工業団地

No.	工業団地名	所在地	産業エリア 総面積
1	Ratchaburi Industrial Estate	110 Moo 9, Donsai, Protaram, Ratchaburi 70120	147ha

(出所) BOI より作成